



かまくら 認知症 ネットワーク

題字 古川茂明

- 会報号外
- 2013年5月1日発行
- 編集発行人
一般社団法人かまくら認知症ネットワーク
〒247-0056鎌倉市大船1-22-2-402号
- TEL0467-47-6685
- 郵便振替
00240-8-140587
- 編集責任者 稲田秀樹

認知症ケアでつながる人々 稲田秀樹

かまくら認知症ネットワーク代表理事
ケアサロンさくら 施設長



症状軽減の取組後笑顔が増えた
阪田渥子さんと夫の晋二郎さん

ケアマネジャーの萩原栄枝さん（現在は稲田栄枝さん）からデイサービスの利用の申し込みを受けて、はじめて阪田渥子さん（当時83歳）のお宅を訪問したのは平成21年7月7日だった。午後6時にご自宅へ伺う約束をしたのをすっかり忘れていて1時間近くも遅刻をしてしまった。

冷や汗が出る思いをいしながら阪田さん宅へ到着すると、ご夫妻、ケアマネジャーの萩原さんともに笑顔で迎えてくれた。奥さまの渥子さんがお茶を注いでくれた。お茶がこぼれそうなのをみて「おい、そんなになみなみ注いだのでは飲みにくいじゃないか」というのが初めて聞いた伸二郎さんの言葉だった。妻の渥子さんは平成19年にアルツハイマー型認知症の診断を受け、物忘れに加えて、同じことを何度も言ったり、物を盗られたと思いつく症状や尿失禁などがあって困っていた。他のデイサービスを利用しては対応が難しく、当時私が勤めていたケアセンターりんどうへ利用の申し込みがあった。

はじめて渥子さんに会った時の印象は、穏やかな物腰だが知らない人に対しては警戒心を抱いていてうちとけない感じがした。夫の晋二郎さんによると窓の外から誰かがのぞくからといってまだ明るいうちからカーテンをすべて閉めてしまうという。自分で食べてしまったお菓子が見当たらないと言いはじめて他の家族のせいにしてきた。渥子さんは糖尿病を抱えていて食べ物への執着があった。そんな渥子さんだが以前は「とても面倒見がよく、かゆいところに手が届くくらい行き届いた主婦」だったと聞いた。いとこ会のリーダー役を務めたりした。コーラスの仲間とは親交が厚く認知症になって以降も付き合いが続いているという。その日はデイサービスの説明をしてとりあえず利用日を決めて阪田さん宅を後にした。帰り際、初対面のケアマネジャーの萩原さんにあらためて遅れたことを詫言したところ、「お忙しいのでしょうから気にしないでください」と言っていた。

デイサービス利用初日の朝、送迎車で迎えに行くに渥子さんはきちんとした身なりをして待っていてくれた。難しいことを言うでもなく送迎車にも乗ってくれた。デイルームにつくと時計の見える窓際の席を自分から選んで腰かけた。その日は夏の暑い日差しが注いでいた。渥子さんの選んだ席は空調の涼しい風がとどいて少しひんやりしていた。その日の昼食までは無事に過ぎた。おやつが終わったあとで渥子さんに自己紹介をしてもらった。するとその場にいた利用者全員に向かってこう話した。「皆さん、私のコートがなくなってしまったんです、お願いですから一緒に探してください」夏の暑い日だったから無論コートは着てこなかった。休憩室にいた私は職員に呼びだされた。デイルームが騒がしくなっていた。



ケアセンターりんどうの外観（当時）

- ★5月10日(土)、11日(日) 認知症サポーター養成講座「認知症の理解と対応」～認知症を知って身近な支え合いをしてみませんか～ 14:45～15:45 於:かまくら市民活動の日フェスティバル 会場:鎌倉市生涯学習センター地下ホール
- ☆5月26日(日) 一般社団法人かまくら認知症ネットワーク 平成25年度定時社員総会 13:30～14:20 鎌倉市福祉センター第1・第2会議室 総会の後のワークショップ「認知症になっても安心とは？」進行:栗原大輔医師(ドクターゴン診療所)ワークショップのみの参加もOKです
- ★6月2日(日) 認知症の人との交流活動 第11回かまくら散歩 場所:フラワーセンター大船植物園 詳しくはチラシをご覧ください

～次号予告～

- ☆第11回「かまくら散歩」～フラワーセンター大船植物園～の報告
- ☆平成25年度定時社員総会・ワークショップの報告
- ☆かまくら市民活動の日フェスティバルの参加報告
- ☆地域の動き、認知症ケアでつながる人々

5月・6月の予定

5月11日(土)	12(日)	認知症サポーター養成講座	鎌倉生涯学習センター
5月11日(土)		認知症相談	鎌倉市役所
5月17日(金)		運営会議	NPOセンター鎌倉
6月8日(土)		認知症相談	鎌倉市役所
6月19日(水)		運営会議	NPOセンター鎌倉

★会報発行にあたり題字を当会会員で若年性認知症の古川さんのご子息(知的障害のある茂明君)にお願いしました。また、毎号イベントの写真はケアマネジャーの出口慎一氏より提供頂いています。(稲田)

鎌倉市との協働事業

認知症相談事業(予約制)

専門職の有資格者が症状の背景や介護の仕方について分かりやすく説明!

・・・かまくら認知症ネットワークが相談員を派遣しています・・・

5月11日(土)
鎌倉市役所
13:30～16:30

6月8日(土)
鎌倉市役所
13:30～16:30

お問合せ・相談のご予約は、鎌倉市役所 市民健康課まで
でんわ 0467-23-3000 内線 2678(受付 8:30～17:15)

入会ご希望の方へ

FAXで入会申込書希望と書いてお送り下さい

～資料をお送りいたします～

FAX 0467-39-5490

一般社団法人 かまくら認知症ネットワーク 事務局
[問合せ先 TEL 0467-47-6685]

会員種別 年会費

1. 個人正会員 3000円
2. 個人賛助会員 2000円(一口以上)
3. 団体賛助会員 2000円(一口以上)

※申込書送付後、年会費をお振り込みください。

郵便振込口座 00240-8-140587

口座名 一般社団法人 かまくら認知症ネットワーク

鎌倉中央公園で認知症の方と市民、中高生が楽しみながら交流を深めました♪

3月24日(日)、「第10回かまくら散歩～谷戸の春を歩こう!～」が行われました。前日までの雨という天気予報を覆し、当日は穏やかな春の日差しに包まれました。参加者は、認知症のご本人、ご家族、介護などの専門職、市民、鎌倉学園インターアクトクラブの中学生高校生と顧問の先生の33人でした。

初めて参加された方々も、すぐに皆さんの話の輪の中に溶け込み、終始和やかな雰囲気でした。私も妻と1歳2カ月になる子供を連れて参加させていただきました。

受付が終わると、公園協会の平田さんの案内で、ハーブ畑でハーブ摘みを体験しました。冬の間、寒さから守るためかけていた落ち葉をかき分けて、新しく小さな芽を見つける作業は楽しく、みなさんとのお話も

弾みました。

その後、公園内のレンギョウをはじめ春の花々をみながら散策しました。みなさん自分のペースで歩かれていましたが、中でもインターアクトクラブの学生さんたちが慣れた様子で認知症のご本人に寄り添いながら歩いている姿には感心させられました。

散策後は、休憩舎で桜の下で、皆さんで摘んだハーブでハーブティーとよもぎ団子を楽しみました。おながりが満たされた後は、オカリナを楽しむ会の皆さんの演奏で癒されました。最後に出身地方別に集まり、それぞれの地方を代表する有名人、食べ物、見どころなどを披露しながらの自己紹介となりましたが、「また参加します」との声が多く聞かれました。まさに春を満喫できた1日となりました。(HA)

参加者インタビュー「かまくら散歩に参加して感じたことなど…」鎌倉市公園協会職員 平田有紀さん

淡中…今回のかまくら散歩ではハーブの摘み方やハーブティーの入れ方、いろいろなハーブの効能などを指導して下さりありがとうございます。参加したご感想を聞かせていただけますか?

平田…認知症の方と接するのは初めてだったので、どんなことをしたら喜んでいただけるのかと心配しましたが、皆さんがとても楽しそうにいらっしやるのを見て、うれしかったです。

淡中…普段は公園協会ではどんなお仕事をいらっしやるのですか?

平田…花壇づくり・畑づくり・植木の剪定などの講座やイベントの開催、公園ボランティア活動の運営などを担当しています。

淡中…これからどんな植物が見頃ですか?またおすすめのイベントなどありましたら教えてください。

平田…ハンゲショウ、ハギ、アジサイです。ハーブも6～7月が見頃です!7月中旬にはよう花市を開催します。朝顔など花苗を販売します。朝顔のトンネルをくぐったり、ゴーヤの緑のカーテンを見たりしてください。その時にハーブのおすそ分け会もする予定で、自分でブーケを作ってお持ち帰りいただけます。ハーブティーも用意しますよ。

淡中…いま何か興味のあることはありますか?

平田…園芸療法に興味があります。花や緑を楽しむ催しを増やしたいと思っています。こんな事がしたいな、という声をぜひお聞かせください♪
(聞き手 まちづくり部会 淡中京子)





市民講座「認知症の理解と対応」(認知症サポーター養成講座) NPOセンター鎌倉

3月24日(日)、NPOセンター鎌倉の2階の会議室にて、認知症サポーター養成講座「認知症の理解と対応」が行われました。講師は当会の稲田秀樹代表が務めました。当日は市民や介護家族、介護従事者など22名の参加がありました。

講座のはじめに稲田講師より、全国で認知症の人数が300万人に達していることや、鎌倉市の高齢化率が28%に達していること、現在65歳以上の人の約1割が認知症になっていて、大変身近な問題であると説明がありました。講座では、認知症の物忘れと加齢による物忘れの違いや、認知症の症状について、認知症の予防と進行防止について学んだあとで、グループワ

ークで認知症の人が安心して暮らせる工夫について話し合いました。話し合いを終えた市民の方からは、「隣近所での日頃からお付き合いが大切なのでは」という感想が聞かれ、また介護の仕事をしている参加者からは、「仕事の枠を超えた支援が必要」という感想も聞かれました。

講座が終わると認知症サポーターの証としてオレンジリングが配布され、参加者の中には早速その日の午後実施された「かまくら散歩」で認知症の人と交流を持たれた方もいらっしゃいました。(SA)



長編動画「毎日がアルツハイマー」上映会とトークの催し 鎌倉市生涯学習センター

3月19日(火)、鎌倉市生涯学習センターホールにて、長編動画「毎日がアルツハイマー」上映会(主催:鎌倉で映画と共に歩む会、共催:かまくら認知症ネットワーク、かまくらりんどうの会)が行われました。映画には、午前の部、昼の部、夜の部を合わせて、認知症介護に関心のある市民、介護家族、ケア関係者など469人が足を運びました。

映画は、アルツハイマー型認知症の母親を監督自らカメラを回したドキュメンタリーです。ひきこもりの母親は生活の様々なところに支障が出ています。介護が必要な状態になっているのにそれを認めない母親と軽妙なやり取りは驚きの連続で笑いを誘う場面も多く

ありましたが、見終わった後はさわやかな印象が残りました。

午前の部の終了後には映画の主催団体のみなさんによる座談会が行われ、映画を見たあとの率直な感想を聞くことができました。昼の部の終了後は若年性認知症の妻を介護する白鳥哲夫さんと当会の稲田秀樹代表が登壇し「認知症介護を楽しく」というテーマで話をされました。また、夜の部にはドクターゴン診療所の栗原大輔医師が「地域医療と認知症介護」をテーマに話しをされました。盛りだくさんの内容の映画上映会でした。(SA)



お知らせ「ホームページお待たせしました♪ & 会報作業のご紹介」事務局より

2月末にホームページが開設となりました。ホームページはシンプルな構成ですが、認知症相談やかまくら散歩などの支援活動、研修会活動などを紹介しています。またこれまでの会報や入会申込書をダウンロードすることもできます。ホームページは今後会報の発行などのタイミングで適宜更新してまいります。

<http://kamakuraninchishou.com/>へぜひ一度お立ち寄りください。認知症の地域支援をご一緒に。『かまくら認知症ネットワーク』で検索を!

2月23日(土)、午前9時半から鎌倉市今泉台のケアサロンさくらを借りて、かまくら認知症ネットワークのスタッフが集まり会報の封筒詰め作業が行なわれました。作業には毎回認知症の本人さんが参加さ

れていて、今回も男性2名の参加がありました。

3月1日号(10号)は映画「毎日がアルツハイマー」上映会でも会報を配布する関係で、いつもの倍近い部数がありましたが、参加者の皆さんは和やかに世間話などしながら、手慣れた流れ作業で予定通り12時過ぎに楽しく作業を終えてくれました。

かまくら認知症ネットワークでは認知症の人の社会参加活動を広める考えから、このようなボランティア活動への参加を支援しています。会報作業は2か月に1度、ケアサロンさくらを借りて行っています。参加希望の方は事務局までお問い合わせください。(IN)



地域の動き「地域の高齢者を笑顔で支えるフォーラム」 鎌倉市福祉センター 鎌倉市

3月14日(木)鎌倉市福祉センターに於いて、「地域の高齢者を笑顔で支えるフォーラム」が、特定非営利活動法人かまくら地域介護支援機構の主催で開催され、介護関係者や市民ら108名が参加しました。

地域の高齢者を笑顔で支えるシステムづくり実行委員会の中には「地域に暮らす高齢者の日常生活を支援する仕組みづくり」と、「災害時(非日常)の要介護高齢者を支援する仕組みづくり」の2つのプロジェクトがあり、それぞれに活動報告がありました。

日常生活を支援する仕組みづくりでは、生活支援サポーター養成講座を修了したサポーターが、生活支援を必要とする地域高齢者に対し、自立した生活が続け

られるように生活支援をしていくもので、軽度認知症のお母様が生活支援サポーターと息子さんの夕食作りをしていくうちに、周辺症状が改善され、デイサービスにも出掛けられるようになった等の事例報告がありました。また災害時(非日常)を支援する仕組みづくりでは、3.11を教訓に作られた『災害時支援なび・鎌倉』が創刊され、冊子の内容が説明されました。～私の緊急時避難情報シート～など中身が濃く、多くの人に目を通して頂きたい冊子であると思います。

最後に実行委員長から、地域市民が参加した「地域包括ケアシステムかまくら型」のお話がありました。(KT)



地域の動き「大阪府泉南市認知症ケア研究会視察受け入れと・交流会」 会場:NPOセンター鎌倉 鎌倉市

3月14日(木)、大阪府泉南市認知症ケア研究会から8名(行政職員3名と介護事業者5名)が鎌倉市を訪れました。一行はケアサロンさくら・高齢者いきいき課を視察後、かまくら認知症ネットワークを訪問され、その後グループワークで交流を深めました。

泉南市では、小・中・高校生から保育所5歳児までも対象に、精力的に認知症サポーター養成講座を展開しているそうです。今年の2月16日には、中学校の吹奏楽部や介護家族、介護事業者らが参加した、まったく新しい形の音楽祭形式の認知症フォーラム「(W)わすれてもだいじょうぶ・A あんしんと・O おもいやりの町)WAO(輪を)音楽祭」を開催し、540名の参加があっ

たとのことでした。

そのほか、泉南市の取組みとして「まちあるき声かけ体験」「介護相談カフェ・おいでや!泉南」、スーパー店頭での「出張認知症相談」などが紹介され、アイデアと親しみのあるネーミング、ファイト溢れる行動力がとても新鮮に感じて参考になりました。

場所をかえての交流会第2弾(飲み会)では、大阪弁のユーモア・突っ込み入りで、立場を超えてまちづくりに取り組む熱い思いをたくさん聞かせていただきました。行政と介護事業者の良好な関係が印象に残った一日でした。(TN)



地域の動き「野七里ケアプラザ認知症サポーター養成講座」 栄区野七里ケアプラザ 横浜市

3月28日(木)、横浜市栄区の野七里ケアプラザにて、かまくら認知症ネットワークの淡中京子さんと林秀卓さんが講師を務め、認知症サポーター養成講座が行われました。

参加者は野七里ケアプラザでボランティアをしている方総勢33名で、講座はボランティア交流会の中の勉強会として実施されました。

講座では認知症について話を聞いた後で、各グループへ認知症の方への悪い対応事例が配られ、それをどのように改善すれば良い対応になるのかを考えました。最後にそれをロールプレイで発表するというグループワークを行いました。みなさん今回学んだ認知症の方への対応方法を思い出しながら、真剣に話し合っ

ていました。発表では思わず笑いが起きる演技力満点のグループもありました。みなさんが考えたひとつひとつの対応は心温まるもので、これぞ認知症サポーターと感心しました。「認知症のことは様々なところで聞いていたけれど、今回の講座を聞いてもっと勉強しなければ…」などの感想や、「今日の資料を持ち帰り、家族で学んでみたい」といった前向きな感想が多く聞かれました。

認知症の人への対応は決して特別なものではなく、挨拶をするとか、相手のことを思いやるとか、そんな基本的な人のお付き合いと通じるところがあるという感想も聞かれました。(KB)

